

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和4年8月2日（火）

2 確認箇所

4号機タービン建屋東側（陸側遮水壁内エリア）

3 確認項目

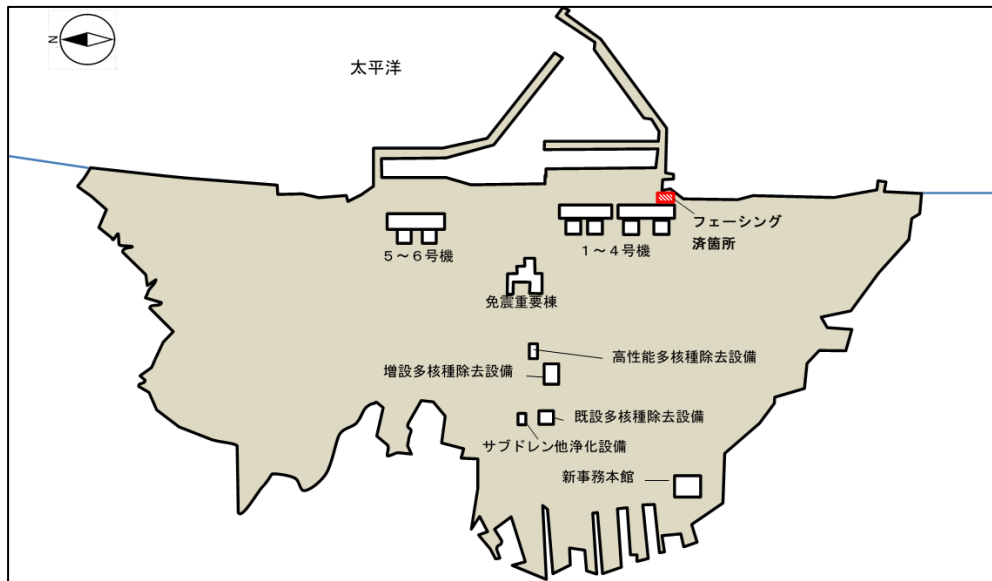
フェーシング工事の状況

4 確認結果の概要

東京電力では、構内の地表面をアスファルト等で覆い、放射線量低減並びに雨水の地下浸透を抑制し、建屋への地下水流入量の低減を図っており、敷地内の計画エリア145万㎡のうち、2022年6月末時点で約95%が完了している。このうち、陸側遮水壁内エリアについては、実施可能な範囲からフェーシング工事を進めており、計画エリア6万㎡のうち、2022年6月末時点で約30%が完了している。

本日は今年2月にフェーシング工事が完了した4号機タービン建屋東側の状況を確認した。（図1）（写真1）

- ・フェーシングした箇所は嵩上げされており、一部は資材置き場に活用されていた。また、嵩上げされた箇所に側溝及びグレーチングが設置されており、雨水を排水するための措置が講じられていた。（写真2）
- ・フェーシングされた箇所の北東側では、東日本大震災時に被災した使用されていないクレーン車を撤去するための工事が進められていた。（写真3）



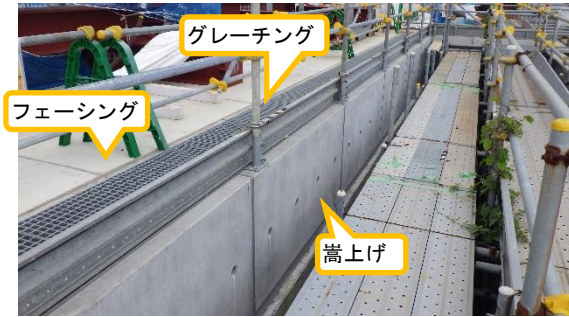
(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
4号機タービン建屋の東側の状況
(南側から撮影)



(写真2-1)
フェーシングの状況①



(写真 2 - 2)
フェーシングの状況②



(写真 3)
クレーン車撤去工事の状況

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。